

第8回北日本新聞社旗争奪富山県少年野球大会

大会長	河合 隆					
副大会長	島 正明	河口 利春	勝山 良三	東海 龍		
実行委員長	関本 昌之	午房 一信	池畑 清人	吉野 司	家城 普一	
副実行委員長	澤 徹	赤倉 哲郎	山崎 克己	中山 強	増原 亮	
	舟金 正和	北山 和仁	本井 一義	中沢 豊治	前田 聡	
	高橋 建	開 順一	二川 和春	高井 清法	尾上 公太	
	荒木 豊	岡野 正	本村 俊之	桶川 佳秀	川辺 義明	
	堀 雅行	竹田 裕一	今方 順哉	小杉 功	藤井 誠	
	南 正人	森田 進治	清水 丈二	仲谷 信二	泉 達志	
	土尾 英久	向郷 宏彰	竹沢 豊	今市 勇人		
審判長	芳田 清	古川 憲一	番場 光弘	川口 誠	尾崎 弘由	
	松岡 昌明					
事務局長	川原 裕司	向 仁史				
事務局次長	北川 憲一	中西美紗瑛	寺家 弘人	渡辺 祐一		

日時	抽選会	5月29日(日) PM 6:30 ~ ウイングウイング高岡4F 大ホール
	開会式	7月2日(土) PM 6:30 ~ 富山市民球場(アルペンスタジアム)
	予選	7月16日(土)、18日(月/祝)、23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)、 8月1日 ~ 8月31日
	決勝	11月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)
	予備日	11月20日(日)、23日(水・祝)

会場	予選	常願寺グラウンド、羽根ピースフル公園、婦中スポーツプラザ、
	決勝	富山県営野球場、富山県五福公園野球広場、宮野運動公園野球場、 富山市大沢野総合運動公園野球場、富山県総合運動公園、新港野球場、 歌の森運動公園野球場

試合方法	予選	5回戦	1ブロック3チームの総当り	1位チーム決勝進出
	決勝	7回戦	トーナメント	

表彰	優勝旗	優勝杯	金メダル	最優秀選手	最優秀投手	優秀選手
	次勝旗	次勝杯	銀メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
		3位杯	銅メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
		3位杯	銅メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
	予選全チーム	優秀選手賞	参加賞			

参加費 12,000円

参加申し込み スポーツ・ワイズ
富山県高岡市古国府6 - 36

第8回北日本新聞社旗争奪富山県少年野球大会要項

目的	スポーツを通じ、各地域のスポーツ少年団の親睦と交流を深め健全な心身の育成に努めることを目的とする。
主催	北日本新聞社 富山県少年野球連盟
協賛	ハイゴールド株式会社 ダイワマルエス株式会社 ベースボールハウス MVP ベースボールハウススタジアム 株式会社エーティーワークス
後援	(有)ワイズカンパニー スポーツ・ワイズ
参加資格	全軟学童に登録し、スポーツ障害保険に加入しているチーム
チーム構成	選手18名、監督1名、コーチ若干名とする。
大会規約	試合球はダイワマルエスC球を使用し、大会本部で用意する。 ベンチは組み合わせ番号の小さい方を1塁側とする。 試合開始30分前に集合しオーダーを提出し攻守の決定を抽選で決める。 予選時はパンフレット記載メンバーのみ試合出場可能とする。決勝トーナメントは1回戦までの変更は可能とする。

予選の試合方法

1ブロック3チーム編成をとり、総当りを行う。

1試合5イニングとし、1時間20分の時間制限を設ける。但し、1時間20分を越えた回の次のイニングまでは試合を継続することとする。

3回以降15点差でコールドゲームとする。

同点での延長戦は、特別延長(ノーアウト満塁継続打順)で行う。特別延長を1イニング実施しても決着がつかない場合は、2イニング目まで実施する。それでも決着がつかない場合は、抽選とする。

勝ち点の算出方法は、3回コールド勝ち5点、4回コールド勝ち4点、勝ちチーム3点、負けチーム0点とし、総得点により予選順位を決定する。順位に関して次の処置をとる。

- (1) 勝ち点の多い方が上位となる。
- (2) 勝敗が同率の場合は、失点率の低いチームを上位とする。
- (3) 失点率が同率の場合は、得点率の高いチームを上位とする。
- (4) 失点率/得点率ともに同率の場合は、抽選とする。

ここで、失点率/得点率の算出には特別延長を含まないこととする。

失点率とは失点を守備機会のアウトカウントで割った値とする。

得点率とは得点を攻撃機会のアウトカウントで割った値とする。

1位チームが、決勝トーナメントに進出する。

バークは、1回目は注意とし、2回目から正式に宣告する。あきらかなバークは1回目から宣告する。

審判は3チームのうち、試合を行っていない残りの1チームが行う(主審含む)。

雨天の場合、当日第1試合、30分前に中止決定を決める。試合途中の雨日没等のコールドゲームは4回終了を規定とする。

打者、走者、ランナーコーチは、ヘルメットを着用し、捕手は、マスク、プロテクター、レガースを使用し、ゴムスパイクまたは運動靴を使用する。

審判への抗議は、監督、主将のみとする。但し、主審がすべての権限を持つこととする(明らかな誤審の場合は、主審/塁審の協議の上、最終決断は主審が行うこととする)。指導者として大会の秩序を乱す行為および言動が発覚した場合、以後の大会出場を制限することがある。

試合前に各チームは会場準備にご協力をお願い致します。また、試合終了後、使用したベンチおよび応援席、そのまわりの清掃にご協力をお願い致します。

予選リーグで棄権したチームは、その該当試合を0-9で不戦敗とする。すでに予選リーグの1試合を実施済みの場合は、その実施済みの試合も0-9での不戦敗とする。

決勝の試合方法

基本的なルールは予選と同じである。予選と異なる点のみ説明する。

試合は、7回戦とし、5回以降7点差でコールドゲームとする。同点の場合は予選と同様に最大2イニングまでの特別延長を行う。(予選と同様に1イニングで決着がつかない場合のみ2イニング目を行う。)

試合時間は、1時間40分を制限とする。

審判は、参加各チーム登録の2名を出し、1日4試合の会場では、1試合目は2試合目のチームで、2試合目は1試合目のチームで、3試合目は4試合目のチームで、4試合目は3試合目のチームで行う。1日5試合の会場も同様とし、5試合目の審判は本部で行う。また、1日3試合の会場では、1試合目の審判は3試合目のチームで、2試合目の審判は1試合目のチームで、3試合目の審判は2試合目のチームで行う。但し、勝ち上がりによる3試合の場合は、1試合目の審判は2試合目のチームで、2試合目の審判は1試合目のチームで、3試合目の審判は1試合目の敗者と2試合目の敗者で行うこととする。なお、主審は両チームの話し合いで決定することとする。準決勝および決勝については、本部で行う。

審判の服装

審判は予選、決勝とも黒または紺の帽子、運動靴を必ず着用すること。

重要事項

質問・連絡等、事務局への電話による問い合わせは、必ず監督もしくはヘッドコーチが行ってください。父兄からの問い合わせには一切応じることができませんので、ご了承ください。

試合中および移動に関わるケガおよび事故は、応急処置のみ対応します。

抽選会には、監督、ヘッドコーチもしくは代表権のある方が必ずご出席ください。なお、抽選会における連絡事項は必ずチーム全体にお知らせください。

予選リーグにおける雨天中止について、事務局からの連絡は行いません。

・午前中の試合の3チームは、第一試合開始30分前まで、試合会場まで来ていただき、ご確認ください。また、原則として、その場で今後の試合日程調整をお願いいたします。

・午後の試合の3チームについては、以下の携帯サイトでご確認ください。当日の試合実施状況を9:30までに更新いたします。また、後日、3チームで試合日程を調整してください。試合日程が決まった場合は、即座に事務局までご連絡ください。

<http://www.toyama-jbl.jp/i/index.html>

予選リーグの結果をFAXで送信する際には送信者と連絡先の電話番号を明記し、送信後に北日本新聞社社会部までご一報下さい。

決勝トーナメントにおける雨天中止について、事務局からの連絡は行いません。

・第一試合の両チームおよび第二試合の審判の方は第一試合開始30分前までに試合会場まで来ていただき、ご確認ください。

・第三試合以降のチームの方は、上記の携帯サイトでご確認ください。当日の試合実施状況を9:30までに更新いたします。

予選/決勝ともに試合状況によっては開始時刻が早まることがありますので、ご了承ください。

富山県少年野球連盟 ホームページ <http://www.toyama-jbl.jp/>
メールアドレス secretariat@toyama-jbl.jp